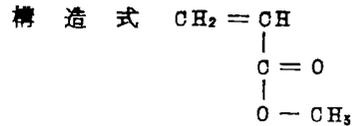


アクリル酸メチルの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和49年8月30日～昭和50年2月28日
 2. 試験料名 アクリル酸メチル (試験瓶K-34)
 分子式 $C_4H_6O_2$



3. 試験方法及び条件 環保業第5号 } 微生物等による化学物質
 薬発第6/5号 } の分解度試験による
 49基局第392号 }

3.1 試験方法

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

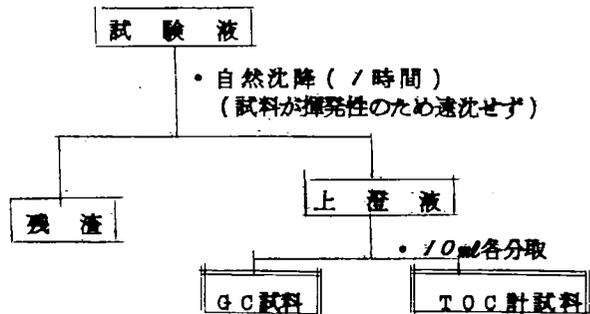
3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC計)

流速 TO回路 200 ml/min

温度 TO炉 860°C

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器

キャリアガス N₂

充てん剤 クロモソルブ 101

ガラスカラム 2mmφ×0.5m

カラム温度 142°C

4. 試験結果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	37.0	1	—
TOC計による結果	100	2, 3	1
GCによる結果	58.3*	4~6	2

* アクリル酸メチルの相当ピークのみにより、分解度を計算したため、このような値を得た。一応参考値として示した。

5. その他

5.1 本物質は水系において、GCのクロマトグラムに見られるように中間生成物が確認されるが、このものが汚泥系において検出されていないこと、TOCの結果および酸素吸収のパターンから、ほぼ分解されると推定される。

5.2 中間生成物に関する確認は、アクリル酸ブチルを代表例として参考実験を行った。

以 上